

## 第79回科学教材開発研究会報告

2020年9月12日（土） 14：00～16：00

ところ 福井県立こども歴史文化館 体験ルーム 1

参加人数 5名

新型コロナウイルスの感染防止のためにしばらくお休みであったが、8か月ぶりの開催となった。

野路さん

### ●IPP39について(紹介)

昨年のIPP(International Puzzle Collector's Party) 39は金沢(日本)で行われた。その総集編ができたので、紹介する。これをまとめるにあたっては大いに貢献した。

IPP39→



### ●IPP39の交換作品の紹介

#### 「ReLEAF」

さて、本物の葉っぱをどのようにするとこのような銀細工ができるのだろうか。



ReLEAF



不可能物体

#### 「不可能物体」

フォークがトランプを串刺し？  
裏面も同形。

### 「箱詰めパズル」2つ

2つの箱詰めパズル、この手のパズルは難解なものが多い。さて、あなたは箱にうまく詰め込むことができますか。何時間も、あるいは何日もかかるかもしれない。



L字形箱詰めパズル



Dictionary Case パズル

月僧さん

●書籍出版について（紹介）

小学校の理科の授業で生徒と一緒に作って遊べる教材が盛りだくさんの本を出版した。この科学教材開発研究会でも発表したものがたくさん載っている。丁寧にやさしく解説しているので、理科嫌いな子供でも興味を持って遊ぶことができそうだ。

「授業で使える科学あそび60」月僧秀弥著→



岸下さん

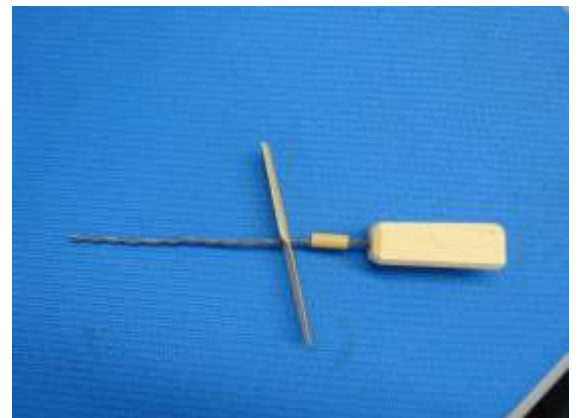
●らせんとんぼの制作（工作）

第77回研究会で柳原さんからプレゼントしてもらったらせんとんぼの木製版を考えた。

竹の板を削って羽根にし、楕円の穴をあけ、太い針金を振じり合わせて持ち手に差し込み・・・と大変な工作であった。結局、時間内に完成することができなかったので、各自、自宅で作業を続けることとなった。

工藤などは、羽根の穴が大きすぎるし、針金の振じり合わせが反対巻きであることに気づかず、飛ばないらせんとんぼになってしまった。

仕方ないから、軸付きとんぼに改良して飛ばすことにした。



らせんとんぼのお手本

工藤

●砂鉄の採取と遊び（工作）

11月に行うワークショップでは、砂から砂鉄を採取して、その砂鉄でお絵かきなどして遊ぶ。

工夫したところは、砂鉄を含んだ砂からいかにして効率よく砂鉄を集めることができるかということ。

ネオジム磁石は強力なので、砂に近づきすぎないようにスペーサーを置いたら、子どもでも楽に砂鉄を採取することができるようになった。



砂鉄の採取



砂鉄でお絵かき遊び